

2023年04月02日

【報 告】

- ※ 今週は主イエス様の十字架の死を覚える受難週、そして来週9日の日曜日はイースター(復活祭)となります。この一週間、毎日主の十字架と復活を覚えて過ごして参りましょう。
- ※ 村瀬病院に入院中でした畑村茂子さんは先週、健康の回復が与えられて退院されました。続けてお祈りください。
- ※ 今週木曜日のオンライン集会はお休みとします。

※ 会堂、牧師館の工事現況についての報告

1. コイノニア・ルームの全面改修工事は室内エアコン設置以外すべて終了しました。なお、テーブル6台といす24脚はクリスマスの特別献金をもって購入しました。
2. 教会台所と2階の会計室及び牧師室にエアコンを設置
3. 後、礼拝室内に壁掛けエアコンの設置工事が残っています
4. 会堂建築時からの課題である電気配線の改良工事を今月中ごろに行う予定です。
5. 牧師館も昨年夏、築30年を迎えて建築メーカー「セキスイ」による最終の定期点検がなされました。その結果、各処に早急に修理修繕の必要があることがわかり、現在はそれらの修理必要な箇所の対応と、外壁と屋根の塗装工事をしています。

週 報

§ 今年の教会テーマ 「恵みあふれる教会」

§ 今年の主題聖句

「私たちはみな、この方の満ち満ちた豊かさの中から、恵みの上にさらに恵みを受けた。」 ヨハネ1章16節

〒513-0035 鈴鹿市矢橋町 471-2
宗教法人 日本ネクスト・タウンズ・クルセード
鈴鹿キリスト福音教会
059-383-5145(教会)
080-3706-8433(牧師)

本日のメッセージ
聖書箇所

「主イエスの十字架の死」
ピリピ 2:5～9

人として生まれた人間は、だれ一人の例外もなく必ず死ななければなりません。全ての人間にとって死ほど確実なものはありません。

(ヘブル 9:27 そして、人間には、一度死ぬことと死後にさばきを受けることが定まっているように、)

このように、全人類の中でただひとり何の罪もなかったお方であるイエス様は、死ぬ必要のないただ一人のお方でした。それなのに彼は死なれました。しかも十字架に掛かって死なれました。これは特別なことです。

2:24 キリストは自ら十字架の上で、私たちの罪をその身に負われた。それは、私たちが罪を離れ、義のために生きるため。その打ち傷のゆえに、あなたがたは癒やされた。

*このイエス様の十字架の死をもって神が教えられている事は

1. 与えるということ

ヨハネ 3:16 神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。

使徒 20:35 『受けるよりも与えるほうが幸いである』

2. 従うということ

ヘブル 5:8 キリストは御子であられるのに、お受けになった様々な苦しみに従順を学び、完全な者とされ、

3. へりくだる（謙遜な者になれ）こと

ピリピ 2:6 キリストは、神の御姿であられるのに、神としてのあり方を捨てられないとは考えず、2:7 ご自分を虚しくして、しもべの姿をとり、人間と同じようになられました。人としての姿をもって現れ、2:8 自らを低くして、死にまで、それも十字架の死にま

で従われました。

神であられたお方が私たちと同じ肉体をもち、弱さを覚える人間となられた。そこには私たちがとうてい理解できないほどのイエス様の謙遜、へりくだりがありました。

多くの人にとって自分を誇り、高ぶることはとても自然なことです。しかし、謙遜になるということは、それを願い意識しても人はなかなか謙遜にはなりません。へりくだるということは罪ある人間にとっては不自然なことだからです。

弟子たちもイエス様と毎日ともに過ごしながら、謙遜なものとなるどころか、「自分たちの中で誰が一番偉いだろうか」と互いに比べ合う者たちでした。ルカ 22:23-24

そんな弟子たちに、主は言われた。「異邦人の王たちは人々を支配し、また人々に対し権威を持つ者は守護者と呼ばれています。

22:26 しかし、あなたがたは、そうであってははいけません。あなたがたの間で一番偉い人は、一番若い者のようにになりなさい。上に立つ人は、給仕する者のようにになりなさい。22:27 食卓に着く人と給仕する者と、どちらが偉いでしょうか。食卓に着く人ではありませんか。しかし、わたしはあなたがたの間で、給仕する者のようにしています。 ルカ 22:25

I ペテロ 5:6 ですから、あなたがたは神の力強い御手の下にへりくだりなさい。神はちょうど良い時に、あなたがたを高く上げてくださいます。

謙遜な人は、より惜しみなく与える者とされ、主と主のみことばに進んで従う者と変えら行くのです。そして主は今日もそのような人を用いてご自身の働きを進めて下さるのです。